

学 校 だ よ り

平成28年1月7日



1月号

NO. 322

横浜市立茅ヶ崎小学校
校長 岩本 悦子

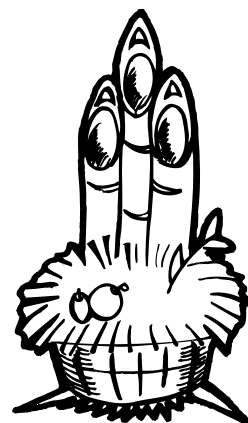
「書き初め」

平成28年、さる年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今年の干支である「さる」について調べてみました。様々な生態や形態のさるがいることを知り驚きました。南米のアマゾン川上流域に生息する体長11～15センチメートルのピグミーモセツトが、人の指に掴まっている映像を見たときは、あまりの小ささにびっくりしました。また、話題のゴリラ、名古屋の東山動物園のシャバーニは「何を考えているのかしら」と思うほどの表情です。

さて、今年も本校では、1月18日(月)～22日(金)の期間に校内書き初め展を開催いたします。

「書き初め」の始まりは、どんなものだったのでしょうか? 「吉書」とも呼ばれ、めでたい言葉や詩歌を書いたのが始まりと言われています。また、宮中で行われていた儀式でしたが、江戸時代の寺子屋や明治以降の学校で習字教育が重視されるようになり、民間でも書き初めの習慣が広まりました。今でも正月行事のひとつとなっています。



茅ヶ崎小学校 校内書き初め展のねらい

- 筆順を正し、字形を正確に理解し、文字を正しく整えて書くことができるようにする。
- 友達の作品を鑑賞し合うことによって、正しく整った文字への関心を高めるとともに、互いに認め合おうとする心情を養う。
- 書き初め展を通して、新年への希望を新たにすることができるようにする。

☆1学年2学年は硬筆 3学年～6学年は毛筆

横浜版学習指導要領の国語科版では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(各領域の基礎となる知識・技能)の「書写」として位置付けられています。

「なぜ、今どき毛筆の学習をするのかしら?」と、疑問に思われた方はいらっしゃいませんか? 毛筆を使用する書写の指導は3学年以上の各学年が行っています。毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導し、文字を正しく整えて書くことが、できるようにすることをねらいとしています。文字を正しく整えて書く能力を身に付けることは、日常生活における硬筆による書写の能力を高める基礎となります。

姿勢を正し、鉛筆や筆を正しく持ち、文字に今年の心意気を込めた作品が完成することを楽しみにしています。

新年にあたり、子どもたちが笑顔で豊かな学校生活を送ることができますよう今年もご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。